

選択必修領域「社会の変化に対応した学校教育の在り方」講習概要・時間割

1. 日 時 : 平成29年8月1日(火) 10:00~17:20 (休憩時間を含む)

2. 募集人数 : 40名

3. 講習内容

国の教育改革や学習指導要領改訂の動向及び学校の内外における連携協力の在り方について考える。2020年のオリンピックを前に、グローバル化、情報化など社会は目まぐるしく変化していくことが予想される。このような時代に求められる学校教育はどのようなものか、これからの指導の在り方を探りたい。具体的には「学校を巡る近年の状況の変化」「学校事故と危機管理」「アクティブ・ラーニングの学習」「体験的な学習活動の充実」等の事項について、講義と討論形式により教員に求められる最新の知識・技能の習得を目指す。

4. 時間割等(予定)

時限(時間)	講習題目	内容	担当講師等
9:15~9:45	【 受付 】		
1時限目 10:00~11:20	学校を巡る近年の状況の変化	子どもを取り巻く環境の変化から、学校が直面する課題も多様化している。こうした事情を踏まえたうえで、最近の具体的な問題事象について取り上げ講義する。その後、講義内容を踏まえてグループ・ディスカッションを行い、受講者がともに刺激し合い、新たな学びを深めることをめざす。	海口 浩芳 商学部准教授
2時限目 11:30~12:50	学校事故と危機管理	学校における危機管理とはどのようなものか。実際に発生した事件や事故などを取り上げながら具体的に対応・対策について考える。また未然防止のための方策や関係機関との連携についても取り上げ、学校における危機管理についてまとめていく。	戸川 点 国際学部教授
12:50~13:40	【 昼休み 】		
3時限目 13:40~15:00	アクティブラーニングの学習	なぜ今、アクティブラーニングが必要とされているかを再確認し、その担い手としての“ファシリテーター”の重要性(実践上のスキル、教育者としてのあり方など)について考える。また、ミニワークを通して気づきを得ていくプロセスを体感することもねらいとする。	石川 一喜 国際学部准教授
4時限目 15:10~16:30	体験的な学習活動の充実	体験的な学習活動を通して感性を育成することの意義を認識するとともに、その指導方法について考察し、自校の教育活動の改善充実に生かせるようにする	巽 公一 工学部教授
5時限目 16:40~17:20	修了試験(筆記試験)		

※ 各時限の担当講師・内容は変更となる場合があります。

※ 学内定期試験中のため、講習中にチャイムが鳴りますので、ご了承ください。